



ベッコウトンボ 飛び交う時季に

祁答院の蘭牟田池周辺

キャンプ場きよう再開

薩摩川内市祁答院の蘭牟田池周辺で、今年も国内希少野生動植物種のベッコウトンボが飛び交う時季を迎えた。5月中旬をピークに、月末ころまで見られそう。

体や羽根のベッコウのような模様や色が特徴。環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に分類され、保護の対象となっている。池西側のピオトープの辺りを舞っていて、撮影や観察に訪れる人も多い。

「ベッコウトンボを保護する会」によると、今季の初観察は3月25日で、前年より10日遅かった。最多の確認は4月17日の649匹。蘭牟田池沿いでは2024年6月の土砂崩れの影響で閉鎖されていたキャンプ場が、3日から暫定的に再開する。市によると、崩落部分に防護柵が設置されたため、周囲の復旧工事は続

いており、天候などによっては再び閉鎖の可能性がある。

利用は1人200円。予約不可。池入り口の生簾系保存資料施設「アクアタイム」で午前8時～午後4時半に受け付ける。池を周回する市道は一部で通行止めが続いている。アクアタイム10996(56)0085。

【問1】 ベッコウトンボの特徴は何でしょう。17字で抜き出しましょう。

体や羽根のベッコウのような模様や色

【問2】 ベッコウトンボは、何に分類されて保護されているのでしょうか

環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に分類されている

【問3】 「ベッコウトンボを保護する会」によると、今季の初観察は何月何日だったのでしょうか

3月25日

【問4】 今季の最多の確認は、何月何日の何匹だったのでしょうか

4月17日の649匹

【調べてみよう】 身近な地域の絶滅危惧種について、調べよう。

むずかしい漢字とことば

模様(も・よう) 特徴(とく・ちょう) 環境(かん・きょう)

絶滅危惧(ぜつ・めつ・き・ぐ) = いなくなる可能性が高くなっている生きものたちのこと 舞(ま)う 撮影(さつ・えい) 訪(おとず)れる 確認(かく・にん) 匹(ひき) 激減(げき・げん) = 急にはげしくへること 貴重(き・ちよう) 蘭牟田(い・む・た) 沿(ぞい)い 土砂崩(ど・しゃ・くず)れ 影響(えい・きよう) 閉鎖(へい・さ) 暫定的(ざん・てい・てき) = しばらくの間、ひとまず決めておくこと 崩落(ほう・らく) = くずれ落ちること 柵(さく) 系(けい) 保存(ほ・ぞん) 施設(し・せつ)

